

第2期富士通環境行動計画(要約)

テクノロジーと創造力を地球環境と人間活動の調和に役立てます。

「富士通環境憲章」に定めた事項を具体的に実践していくため、
「富士通環境行動計画(第2期:1996年4月策定)」は、工場・事業所を中心に対策ごとの数値目標を定め、5年間の活動ですべての目標を達成しました。2000年度の目標と実績は次のとおりです。

行動目標

項目	行動目標	2000年度		関連ページ
		目標	実績	
環境マネジメントシステム	工場や事業所(開発・サービス拠点含む)を対象に、2000年度末までにISO規格に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用	—*1	—*1	11
製品リサイクル対策	回収廃製品を対象に、2000年度末までにリサイクル率90%を達成	90%	92% (達成)	19
工場廃棄物減量化対策	工場廃棄物量を、2000年度末までに1991年度実績比で80%削減	88%削減*2	93%削減 (達成)	25
化学物質の排出削減	環境負荷低減のため、化学物質の排出量を2000年度末までに1995年度実績比で20%削減	20%削減	25.6%削減 (達成)	27
省エネルギー対策 (地球温暖化対策)	単位売上高あたりの電力使用量を、2000年度末までに1990年度実績比で20~30%削減	40%削減*2	40.1%削減 (達成)	29

*1:環境マネジメントシステムについては、1999年度において行動目標を達成したため、2000年度目標・実績はありません。

*2:工場廃棄物減量化対策および省エネルギー対策については、1998年度にて行動目標を達成しているため、2000年度目標(部分)は、さらに上乗せした目標を設定しました。

行動目標達成のための主な施策

環境マネジメントシステム

製造拠点11工場および開発・サービス拠点4事業所にて認証取得
共通仕様書類の整備によるシステム構築と運用
環境パフォーマンスの向上・評価*3

製品リサイクル対策

5リサイクル拠点設置、富士通りサイクルシステム運用
パソコン部品(保守用)のリユースシステム運用
ライフサイクルアセスメント(LCA)の運用

省エネルギー対策

電熱併給システム、インバータなど省エネ技術の導入
電力モニタ開発、使用電力監視
省エネルギー技術、ノウハウの工場・事業所への展開

工場廃棄物減量化

廃水処理汚泥有効利用(セメント原料化、銅回収)
混合プラスチック燃料化
減量化マニュアルと事例集の整備・運用

化学物質排出削減

使用プロセスの改善(使用回避、分離回収)
除害施設(排気・排水)の改善による機能強化
ステンレス材料の使用拡大による非塗装化

*3の用語説明については、49ページをご覧ください。